



## 2024年(令和6年)1月オホーツク管内倒産集計

令和6年2月5日

株式会社 東亜リサーチ

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

### 1月の倒産発生は20年以來4年ぶり

#### 昨年11月以來2か月ぶりの発生

■前月比	件数	1件増加(令和5年12月	0件)
	負債総額	5,142万円増加( "	0円)
<hr/>			
■前年同月比	件数	1件増加(令和5年1月	0件)
	負債総額	5,142万円増加( "	0円)

#### 令和6年1月の発生状況

令和6年1月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は発生1件、負債総額5,142万円。前月、前年同月はともに発生がなく皆増となった。発生企業は網走市内の黒糖製造・食品加工業者。コロナ禍における売上減少・業績不振が主要因となっている。倒産発生は昨年11月以來2か月ぶり、また1月の発生は2020年以來4年ぶりとなる。新年早々の倒産発生で今年も予断を許さない状況が続く見通しだ。

## 過去5年間と今年1月の発生推移

過去5年間の1月の発生推移は【右・表】の通りで、発生件数はいずれもゼロ件または1件で推移しており、平均発生件数は0.4件。同負債総額は小規模倒産が中心のため、3,020万円となっている。

これまでの推移から1月は比較的倒産の少ない月といえるが、今年は4年ぶりに発生が見られた。

過去5年間と今年1月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
2019年	1件	5,400万円
2020年	1件	9,700万円
2021年	0件	0円
2022年	0件	0円
2023年	0件	0円
2024年	1件	5,142万円

## 今後の見通しと問題点

国内全体では、ポストコロナの局面において個人消費や観光産業などで活発な動きが見られるなど明るい話題も増える一方、依然として出口の見えないエネルギー・原材料価格の高止まりや深刻な人手不足、人件費高騰など企業活動におけるマイナス要素の根は深く、さらに今年は物流の2024年問題も各方面に重くのしかかる。

昨年のオホーツク管内は夏場以降に倒産企業増加の兆候も見られ、過去5か年では最も多い倒産件数、負債総額も2番目に多い水準に上った。そして、年が明けてもその兆候は続き、1月は網走市内の製造業者が破綻。不穏な空気が漂う1年のスタートとなった。昨年5月のコロナ5類移行を機にようやく経済活動や地域イベントも本格的に再開され、地域の気運は大いに高まっているが、一部業界ではコロナの後遺症で苦しむ事業者も見られ、地方の中小企業者にとっては先行き不透明感が拭えない状況が続く見通し。2月以降の動向に注目したい。

